



ぽっぽ屋



輸送サービス労組 東京支部

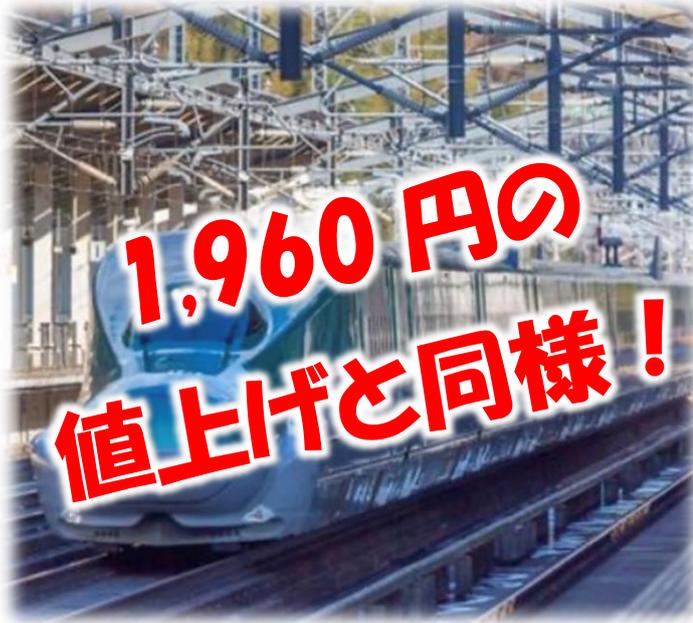
2024.12.6
No. 059

利用者よりも DX 化が優先！

2026年3月(予定)より

顧客軽視でつぶれた
国鉄を忘れたのか!?

往復・連続乗車券発売終了 往復割引も廃止へ



往復割引がなくなると・・・

例 東京～八戸間(営業キロ632.1 km)

通常期 はやぶさ号 普通指定席

往復使用した場合

現行

普通指定席代 13,600 円(往復分)

往復乗車券代 17,620 円(割引適用)

改定後

普通指定席代 13,600 円(往復分)

往復乗車券代 19,580 円(割引なし)

12月2日、JRグループはICカードの利用拡大やインターネットによる予約サービスの利用増加に伴い、2026年3月でこれまで長年販売していた往復乗車券・連続乗車券の発売終了を発表した。これにより片道601キロ以上に適用されていた往復割引も事実上、廃止になる。往復割引は学割やジパング割引と併用でき、帰省する学生からジパング会員であるご年配の方まで多くの方がご利用になっている。特に近年、JR東日本は半ば強引にDX化を取り入れている。この間、「みどりの窓口の大規模閉鎖」「京葉線ダイヤ改悪」など利用者や地域社会を無視した事象が相次いで発生している。JR東日本の経営陣は国鉄改革を覚えていないのか？JR東日本の前身の国鉄は顧客軽視を続けた結果、破綻したのを忘れてはいけない！私たち輸送サービス労組はしっかりと利用者や現場で働く社員の声に耳を傾け、「安全」はもちろんのこと「サービス向上」にも努め、労働組合の責務を果たしていく！